

令和6年度 豊明市指定管理者審査委員会 議事録要旨

日時 令和6年7月30日（火）
午前 午後1時30分～
場所 豊明市共生交流プラザ

※敬称略

出席委員：鈴木、石井、伊藤、萩野、松村

事務局：共生社会課長、共生社会課長補佐、協働推進担当係長

指定管理者：株式会社トヨタエンタプライズ（以下「指定管理者」という。）

事務局より

当会議は非公開会議とする。企業ノウハウ等が含まれる資料も部外秘のため、ご配慮いただきたい。

委員6名のうち出席5名で過半数以上の出席により会議は成立。

1. 委員長あいさつ

2. 議題

（1）令和5年度指定管理実績報告について

令和5年度豊明市共生交流プラザ事業報告書に基づき指定管理者より報告。

質疑・意見等

（委員）

乳幼児健診の際、図書館の読み聞かせなど対象者に関連したイベントの周知を行っている。共生交流プラザ利用者と共通している人には相互に情報を発信し連携を強化したい。

（指定管理者）

相互の情報発信及び連携強化は是非行いたいと思います。

（委員）

子どもや高齢者も多く利用するとなると、どうしても怪我や事故も増えるが実績は記録してあるか。また救急搬送対応があるなら頻度はどうか。また怪我、事故発生時に対して備えはしてあるか。

（指定管理者）

怪我、事故及び救急搬送の実績はすべて記録しており、救急搬送の頻度は3月に1度程度です。事故等の備えについては職員間で常に情報共有を行い、手当や通報の役割を明確にして事態発生時に対応できるよう想定、訓練を行っています。また最近熱中症にかかる利用者が多いため、救護室は常時エアコン稼働し利用可能な状態を維持、熱中症対策のアイテムも常備しています。

（委員）

貸館利用が増えているが、定期的な利用者が常用し、他に使いたい人が使えない状況は発生していないか。

(指定管理者)

予約システムを導入しており、予約は自動抽選となっておりますので(予約期間については市内在住者が優先されるよう期間を設けている)、毎回同じ利用者ばかりが利用といったことはありません。なお予約期間が過ぎた後の申請は早い者順となっております。また令和6年度の事業計画に記載しておりますが、ビジネス向けの定期利用プランの新設を検討しています。

(2) 令和5年度モニタリングレポート(年次評価)について

共生交流プラザの運営等に係る令和5年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート(年次評価)について事務局より説明。

また、指定管理者の経営に関する事項については事前に石井委員に分析を依頼し、分析結果の報告を次のとおり受けた。

「新型コロナウイルス後の経済活動の正常化や新規顧客の獲得等に伴い、売上高は増加している。また物価上昇や原価高騰の影響については最小限に留めており純利益は増収、増益の結果となった。全体を見て、財政状況に格段の不安はないものといえる」

以上のことから、審査委員会としてのコメントは、次のとおりとした。

「各地で小中学校の統廃合が進む中、廃校を地域でうまく活用している成功事例となっている。毎年利用者及び利用率が増えていることは、利用者の声を細かに聞き、柔軟に対応している結果と考えられる。これはハード面の整備だけでは成しえず、ソフト面である指定管理者が人に対し丁寧な対応を行った結果、来訪しやすい施設となっている。また利用者が増えれば怪我や事故といったリスクも増えてくるところであるが、職員が想定し対策を行えることで重大な事故も起きることなく運営できている。現状に満足することなく、今後も利用者の声を聞き、利用者に喜ばれる施設運営をしていきたい。」

(3) 令和6年度指定管理者事業計画について

令和6年度事業計画に基づき指定管理者より説明。

質疑・意見等

(委員)

令和5年度実績に基づいて見れば、十分可能な計画だと思われる。

3. その他

事務局より、議事録とモニタリングレポートについてホームページに掲載する旨説明。